

「わが村は美しくー北海道」運動 帯広ブロック情報交換会を開催

平成24年2月15日（水）帯広市とかちプラザにおいて、「わが村は美しくー北海道」運動 帯広ブロック情報交換会 ～とかちの魅力を語ろうワークショップ～ を開催しました。

昨年度行った応募部門毎の意見交換会は、「時間が足りなかった」という意見もあり、今年度は、多くの人と十分な交流時間が持てるように、「ワールド・カフェ」という方式を用いたワークショップを企画し、十勝管内の参加団体やブロック調査委員など40名が参加しました。

冒頭で、帯広開発建設部の日置次長から開催挨拶、北海道開発局農業振興課の飯田課長から運動の概要説明があり、続いて、十勝管内で推進している「フードバレーとかち」について、帯広市産業連携室の小野副主幹から説明を頂きました。



帯広開発建設部日置次長



農業振興課飯田課長



帯広市小野副主幹

「ワールド・カフェ」方式のワークショップでは、4～5人ずつ6グループに分かれ、「とかちの魅力」をテーマに話し合い、25分間のラウンドごとにメンバーチェンジをして3回のラウンドを行いました。自分たちの活動を紹介しながら、地域の魅力や十勝の特色などについて意見を出し合い、机に広げた模造紙に意見やキーワードなどを次々と書き込んでいきました。

地域を守るために、自分たちの活動を後生に伝えていく必要性や他町村との連携の重要性などを語る姿からは、「地域が好き、十勝が好き」という思いが強く感じられ、予定時間をオーバーするほど活発な意見交換が行われました。持ち込まれた特産品を試食しながらの話し合いに、テーブルのあちこちからは笑い声も聞かれるなど、リラックスした雰囲気での情報交換会となりました。

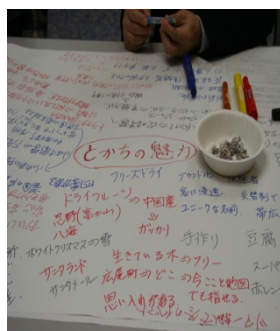
「昨年の会での交流がきっかけとなって一緒にイベントに参加した」という団体もあり、今後もこのような情報交換会を継続的に開催して、団体間の交流の場を提供していく必要性を感じました。



とかちの魅力を熱く語る参加者



リラックスした雰囲気に自然と会話も弾みます



意見やアイデアでいっぱい模造紙



農業・商業・行政など、様々な立場から意見が出されました